

熊退教協ニュース

発行所
熊本県退職教職員等
連絡協議会 熊本市
中央区九品寺1丁目
11-4 (代)372-1500
編集者/発行人
松田道雄
No.117

現退一致で組織の未来を

熊退教協会長 松田道雄

あけましておめでとうございます。会員の皆様、お健やかに新年をお迎えと拝察します。

昨年は参議院選挙で「みずおか俊一」を当選させることができました。皆様のご努力に感謝申し上げます。

十月に発足した高市政権は、「金融緩和と財政出動危機管理と成長投資」を提唱しています。金融緩和は、円の価値を薄め、円安に傾きます。輸入に頼る我国では各種の品物の高騰が進むと思われまふ。今でも賃金上昇が物価上昇に追いついていません。年金生活者には、影響がさらに大きいです。

私たちは退職後の生活を豊かにするために退教協を組織しています。

近年、「退職年齢の引き上げ」「退職後の再雇用」など退教協にすぐ加入しない状況があります。各地区で、工夫し会員獲得につながるような活動がますます重要になってきます。

地区間の交流を目指して、熊退教協ニュースの内容は、各地区の取り組みを紹介する点に力を注ぎ紙面の構成をしています。

熊退教協は各地区の交流を目的に毎年二月に「友好の会」を実施しています。今年「城北」で二月二十三日、二十四日に開催します。お待ちしております。

退教協の目的にも「経済的、社会的、政治的地位の向上」とあります。今後組織を強く大きくするため、現職との交流を深めましょう。



2025年12月10日
地区事務局長
にて

新年のご挨拶

熊本県議員 岩田とも子

新年あけましておめでとうございます。昨年大変お世話になりました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。私も精一杯がんばっていきます。

熊本県では、空港アクセス鉄道の建設、肥薩線の復旧、川辺川ダム建設、大規模スポーツ施設の建設等々が、賛否両論渦巻く中、着々と進められています。このような大きな予算を伴うものについての財源の議論はほとんどないのに、避難所として使う小中学校の体育館への空調設備などに関しては、財源が...と言われます。子どもや女性、高齢者に関わる施策も外れなものになっていきます。

熊本県では、空港アクセス鉄道の建設、肥薩線の復旧、川辺川ダム建設、大規模スポーツ施設の建設等々が、賛否両論渦巻く中、着々と進められています。このような大きな予算を伴うものについての財源の議論はほとんどないのに、避難所として使う小中学校の体育館への空調設備などに関しては、財源が...と言われます。子どもや女性、高齢者に関わる施策も外れなものになっていきます。



2025年6月11日 熊退教協
定期大会にて

第三回「友好の会」城北大会のご案内

カモン、モモン城北 玉名でみんなであそぼう

城北退教協会長 前田 繁

新年あけましておめでとうございます。熊退教協第31回「友好の会」城北大会を開催します。皆様方のたくさんの参加を期待しながら城北地区会員は準備を進めています。

昨年度の人吉・球磨大会の次回開催地挨拶では、精いっぱい笑顔で「カモン、モモン城北、おいか、楽しか、気持ちよか」とお誘いします。

「友好の会」城北大会開催要項

期日 2月23日〜24日
(月・祝) (火)
会場 ホテルしらさぎ
(旧白鷺荘別館) 玉名市岩崎730
TEL 0968 (72) 2100
参加費 14500円(宿泊+交流会)
(交流会のみ7000円)
受付13時半・全体会14時より
(交流会は17時45分始まり)
申し込みは各地区の退教へ(締切1月31日)
駐車場あります。できるだけ乗り合わせて。
詳細はチラシでご確認ください。



いろいろ会十月例会 美里町の石橋見学に行きました

10月5日 宇城退教協 村岡純子



参加者15人。最高齢93歳。事務局長からパンフレットが配られ、見学コースの説明。今回は美里町の石橋の中から5つを訪問。8月の豪雨被害の影響もあり、事務局長は事前に下見をしてくださったとのこと。心配りに感謝、感謝。午前10時、4台の車で教育会館を出発。

最初は「二俣橋」。太陽の光で橋の下にハイト型の影ができることが話題の橋。しかし、美しい景観の先に見えたのは、川や欄干に残された流木や瓦礫だった。橋は通行止め。流木の大きさが豪雨時の流れの凄さを物語っていた。

次は「馬門橋」。上下で石の組み方が異なる珍しい橋だが、急な坂があり、苔で滑りやすいとのこと。無理は禁物。私も含め4人は駐車場で待機。駐車場から見える稲刈り風景を楽しんだ。

三番目は「霊台橋」。単一アーチ橋として日本最大級を誇る橋で、1847年架橋。1960年代までバスやトラックも通っていたそう。先人の高い技術に感服するばかり。みんなでアーチ型の橋を歩いて渡るも、周辺には崖崩れの箇所あり。豪雨の爪痕に心が痛む。四番目は「大蓬橋」。橋に桜の枝がかり、春には映えスポットになること間違いなし。

言葉だらけでした。しかし、そんなことばかり言っておられません。事務局長を中心に取り組みが始まりました。まず、希望者を募り、歌の練習を月に一回することになりました。八月に入ってから、それに合わせて全体会での踊りを練習していきます。全体会の内容については、ヒミツ。乞うご期待です。ヒントは、荒尾・玉名地区は小岱山、菊池川、有明海と自然に恵まれた場所だということ。この中の一つを題材に劇にし、地域の良さを紹介します。

城北地区には、荒尾市・玉東町・玉名市・長洲町・和水(なみ)町・南関町があります。せつかくの城北地区です。どこをどう楽しむかを考えてお出かけください。会に参加した

「ホテルしらさぎ」遠くは「白鷺荘別館」



どと話していると、Uさんの眼鏡が川に落ちたとの情報。「あら」と諦めモードの私たちを尻目に、川に向かってスルスルと下りて行くUさん。無事、愛用の眼鏡を回収。80代、お見事!

最後は「小笠橋」。橋の袂が太くなっている。通潤橋にも用いられている技法だそう。そばにはイチヨウの原木があり、橋の上にはたくさんの銀杏の実。俺たちが砥用中に勤務した頃は、銀杏は橋の上でなく袂に落ちた。太なつたなあ。40年前を懐かしむUさん。その横で夢中で銀杏を拾うUさん。約2時間の石橋見学会はここで終了。

のどかな風景、先人の知恵、仲間との交流、旅のハイキング。宇城のよさを再確認する旅となった。と同時に線状降水帯の脅威を目の当たりにした旅でもあった。

被災地の復興を心より願っている。



先人の技術と豪雨の爪痕 復興を願う



先人の技術と豪雨の爪痕 復興を願う

主な予定 1~3月
2月7日(土)10時<パレア>
岩田とも子県政報告会
2月23日(月/祝)24日(火)
「友好の会」城北大会
3月4/5日(水/木)<沖縄>
日退教九プロ研修&総会
《天草地区の鬼塚さんが代表
でレポートされます》

秋空の下の「ふるさと巡り」

10月18日 阿蘇退教協 佐藤謙一



「ふるさと巡り」と称して、阿蘇にたくさんある廃校を巡りを実施している。本年度は南阿蘇村を別紙の日程で4台の車で回った。主に勤務経験のある方が参加されるが、本年度は南阿蘇村に在住の方も含め、この数年では最高の参加者数であった。心配された天気も雨も降ることもなく最高の状態であった。

前半は2016年の熊本大地震で大きな被害を受けた旧長陽村の見学で、阿蘇ジオパークガイド協会の3名が参加していたこともあり、その被災地の学校や九州東海大の跡地などを見学し、詳しくその時の現状を知ることができた。

昼食はヨツカド(高森のスーパー)の美味しいう弁当を会員の後藤やよさん宅の畳の上でいただき大満足だった。

午後からは旧白水村の廃校を巡り、それぞれの学校に勤めた方の体験談を聞いた。特に9番目に訪れた中松小では、そこで退職した広瀬美さんが全校児童の前で行った最後の授業を参加者の前に圧縮版でやつてもらった。分かり易い内容でユーモア交じりに話っていた。終つて期せず拍手が起きた。最後の集合場所になっている旧立野小は「エントラダ」(阿蘇カルデラの入り口の意味の造語で、阿蘇火山博物館の出張所)になっており、参加者の中に阿蘇ミュージアムの会員がいたこともあり中に入り見学できた。(私個人として立野小は今の校舎に移転したとき在職していたこともあり、校舎内に入り懐かしい思いに浸った)



左:お弁当タイム

右:復刻,最後の授業

「ふるさと巡り」と称し車での移動にして行っているが、定着しつつあり参加者も増えている。阿蘇には行っていない廃校がまだまだたくさんある。

上:震災遺構「KIOKU」ロビーの前で

25年度 ふるさとめぐりコース	
1	立野ダム
2	長陽西部小
3	震災遺構「KIOKU」
4	久木野中学校
5	四季の森(足湯)
6	昼食(会員の自宅にて)
7	両井小
8	白水小
9	中松小
10	立野小(エントラダ)

「遠足」というと、会員の皆さんは「歩くのは無理」と敬遠されがちなので、この数年は無理なく敬遠されがちなので、この数年は地区の担当で、熊本から7名、合計28名が参加しました。大津地区を中心に、「世界かんがい施設遺産」に登録された施設を見て回る見学旅行です。

大津在住の村下洋一さんが、病気で声が出にくい中、長年の郷土史研究で得られた



10月24日 鹿本退教協 緒方昭弘

菊池退教協「秋の散策」へ参加

菊池退教協の「秋の散策」について報告いたします。レポートは、鹿本退教協の緒方です。なんで、菊池の行事を鹿本のものか…と疑問に思われることでしょう。最初にこのようになった経緯から、そして当日の様子を、と紹介していきます。

まず、鹿本では、近年一日旅行の実施に当たり参加者が年々減少し、貸し切りバスでの実施が難しい状況でした。菊池退教協の役員の方々に、「一日旅行に鹿本からも参加させて頂きたい」旨をお願いしたところ、快く承諾して頂きました。

今年の「秋の散策」は菊池退教協の東部地区の担当で、熊本から7名、合計28名が参加しました。大津地区を中心に、「世界かんがい施設遺産」に登録された施設を見て回る見学旅行です。

大津在住の村下洋一さんが、病気で声が出にくい中、長年の郷土史研究で得られた

事余すところなく解説されました。主に加藤・細川藩による白川からの上井手・下井手建設の様子や逸話、さらには犠牲になられた方の話もありました。

また、国の重要文化財に指定されている江藤家住宅では、その敷地面積の広大さと屋敷門の豪華さに圧倒されました。

昼食は、会員のどなたかのお薦めだったんですよ、阿蘇路の森に囲まれた素敵なレストランでのランチ。この値段でこんなおいしいランチが…

最後に、大相撲の不知火型の完成者である第十一代横綱「不知火光右衛門」の記念碑を見ながら、「鼻ぐり井手」の素晴らしい土木工事を見学し、一日旅行を終わりました。

この日の素晴らしい一日旅行を計画して



初的女性首相誕生以来、派手な政治ニュースで賑わっている。米国への投資80兆円をはじめ、大規模な財政出動など、日本はそんなに大盤振る舞いができる国だっただろうか。

財源論があいまいなのに、先、どこが切り捨てられるのだろうか。

国債頼みの国家財政。あれもこれも大事な中で、政

権が切り込むのは社会保障費になることは目に見えている。昨年「年収の壁」を壊しても、巧みな世論操作が行われて、手取りを増やすと大騒ぎになったが、その時狙われた先に医療費の削減ありきの議論ではなく、最後の人権として論じられべき問題である。

命を安上がりで終わらせないでほしい。派手な政治の演出より、平和に暮らすための医療費削減、養育費のさらなる改善と、病院のベッド数を減らすという

熊本市 富永幸生

話題となったのは、後期高齢者の医療費負担や高額療養費制度のさらなる改善と、病院のベッド数を減らすという

熊本市 富永幸生

10月9日 組織活動交流集会 in 東京

熊退教協 活動のあゆみ

2025. 10月~12月

熊退教協事務局長・桑本 謙

12月10日 地区事務局長会

「ふるさと巡り」の行事を中心にさまざまに

あしんちむすぶ 教職員共済

教職員生活を幅広くサポートする共済を知ってほしいから

「知らなかった」を「知ってよかった」に

お身内の教職員の方を ご紹介ください!

教職員共済は、厚生労働省の認可を得て共済事業を営む職域唯一の共済生協です。学校関係にお勤めであればあなたでもご加入いただけます。

厚生労働省認可 熊本市中央区九品寺1-11-4 教育会館2階 教職員共済生活協同組合 熊本県事業所 TEL: (096) 372-1311